

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全員協議会	場 所	全員協議会室
		担当職員	阿久根由美子
日 時	平成 2 6 年 3 月 1 4 日（金曜日）		
	開議 午前 1 1 時 0 0 分 閉議 午前 1 1 時 5 4 分		
出 席 議 員	議員 2 6 名		
執行機関出席者			
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根副課長、坂田主任、三宅主任		
傍 聴	可・否	市民 5 名、報道関係者 1 名、執行機関 21 名	

会 議 の 概 要

1 1 : 0 0

〔京都学園大学 坂本信雄先生入室〕

1 開議

〔明田議長 開議〕

〔事務局長 日程説明〕

2 大規模スタジアムの経済波及効果について

<明田議長>

本日は坂本先生がまとめられた大規模スタジアムの経済波及効果について説明を聞く。

〔坂本先生 説明〕

- ・ 1 年前官学共同研究の一環で研究会を立ち上げ、8 名の先生により総合的にスタジアム建設による経済波及効果を研究した。
- ・ 9 月にガレリアでパネルディスカッションを行い、最終は 3 月 25 日に報告を行う。
- ・ 夏ごろに従業員 4 人以上の会社に出荷額調査を依頼した。回収率は 4 割に満たなかった。出荷額は連関表をつくる重要な基礎データになった。

- ・経済効果は、直接効果、１次効果、２次効果がある。産業連関表では波及効果も含めて考えている。
 - ・見合った受益として雇用増、税収増も期待できるが、今回は踏み込んでいない。
 - ・青少年の育成、健康志向の高まり、まちの元気など数字に表せない間接的効果、外部効果もあり、その効果は大きいと思う。もっと話題にしてもいいのではないかと思う。
 - ・効果をみるには産業連関表を見るのが一般的で土俵を同じにして考えるべき。
 - ・工事費は予算ベースで亀岡市提供の数字を使っている。
 - ・来場者は 9,000 人で計算している。2003 年から昨年までの平均で 9,000 人は過大ではない。サンガは J1 昇格の可能性のあるチームで、そうなればさらに効果は大きい。観客数は J1 になると倍増する。
- （説明資料に基づき説明）

11 : 25

〔 質 疑 〕

< 井上議員 >

観客、スタッフの消費は府の事業のため府が持っていく。市が使う 28 億円に見合う税収増や地元の雇用創出は見込めるか。

< 坂本先生 >

計算は出来るが、いずれも数字を言うと独り歩きするので控えた。がい然性をもって効果があると思うことでよいのではないか。人口減少、少子化、若者の減少により、税金を払う年齢層が減少する。2035 年には今より人口が 15%、現役層が 20%減少する見込みである。この課題に目を向けることも重要である。スタジアムにより交流人口の効果と消費需要含めた企業のプラス効果により税収増につながると思う。

< 馬場委員 >

サッカー J2 はナイトゲームとデイゲームがある。温泉などの観光との関連はどう見たのか。

< 坂本先生 >

その点はあまり考えていない。まちづくりではスポーツをコアに取り組むのがよい。スタジアムの名称なども考えてもよいのではないか。

< 馬場委員 >

宿泊客を 450 人見込まれているが、ビジネスホテル 2 軒だけでは足りない。どう考

えておられるのか。

<坂本先生>

ホテル建設の話も出ている。それを念頭に置けば 450 人が過大だとは思わない。

<馬場委員>

P3、受益は誰が受けるのか。亀岡市外の企業なのかもしれない。

<坂本先生>

建設にゼネコンが入れば地元需要が減るが、建設の付加価値 3%、6～10 億円が地元に戻っていく。産業連関表では含めて計算するもので、192 億円全部が亀岡市還元かということ必ずしもそうではない。

<酒井委員>

試合以外にコンサート、フリーマーケットがあげられているが、できるのかは今分かっていない。

産業連関表から見る亀岡の産業構造の特徴は。

<坂本先生>

イベント等は明確ではないが、計算上入れないと現実離れになる。年間 30 日は行われる前提で計算している。ない方がおかしい。

あとでまとめたものは出すようにしたい。今回は時間の都合上間に合わなかった。

<吉田議員>

年間来場者 9,000 人は西京極球技場での平均値を使っておられる。亀岡のような郊外でも同じと見込まれた理由は。

亀岡市外近郊からの来場者 10%、日帰り 85%、宿泊客 5%に設定した根拠は。

平均 2,500 円の入場料収入を設定されているが、割引もあるのでどうか。

<坂本先生>

前提は必要で、参考にした。新設すると間違いなく観客は増えている。

福岡の新スタジアムで計算されたものを参考にした。割合は感覚的なもの。

そこまで考えるのはどうか。

<中澤委員>

J1 昇格になれば効果も単に 2 倍になると考えればよいのか。

来場者の消費などの効果も期待できる、効果にのせる考えは。

<坂本先生>

そう考えてよいと思う。

これからのまちづくりの取り組み方である。情報発信には大きな効果がある。来場者を通じてのまちづくりの見せ方で新たな効果が生まれる。

〔坂本先生 退室〕

〔明田議長 閉議〕

散会 11 : 54